



# 校長通信

令和4年度 14号 令和4年9月21日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

## 《2学期中間テスト終了》

9月14日（水）15日（木）2学期中間テストでした。生徒は真面目にテストを受けていました。

16日（金）、20日（火）の授業で答案返却をする様子を見ました。テスト問題用紙を持ってきて、返却後、教師の解説を聞きながら、きちんと見直している生徒が大半ですが、問題用紙の用意を忘れていたり、自分の答案をしっかりと見直そうとしない生徒もいました。

そんな時、私は、個々の生徒に「残心が大切！」と声をかけています。ここでの「残心」の意味は、自分の取った得点に一喜一憂するだけでなく、自分の間違いを見直して次に生かす精神のことです。得点がよかった生徒も、あまりよくなかった生徒も、自分の間違った問題を見つめなおして、次に生かしてほしいと思います。



## 《ニコチン中毒の怖さ》

先日、ニュースで、某県の県会議員が、全国高校野球選手権大会で母校の試合を観戦中、禁煙の阪神甲子園球場アルプス席で喫煙していたと報道されていました。県会議員と言えば選挙で選ばれた県民の代表で、県議会で、条例や予算の承認をしたり、県政が正しく行なわれているか、厳しくチェックをする立場の人です。そのような立場の人が、禁煙席で煙草を我慢できず吸ってしまうほど、煙草に含まれるニコチンの中毒は、強烈なものなのだなど改めて実感しました。

煙草は、健康に様々な害を与えます。その害は喫煙者だけでなく、まわりにいる非喫煙者にも影響を与えていると言われています。また、一度、喫煙の習慣がつくと、ニコチン中毒をやめることが困難になります。実は、わたしもかつて、喫煙者でした。やめるのにかなり苦労しました（実感もってます）。

学校では、保健の授業で煙草の害について学習したり、薬物乱用防止教室を行ったりしています。子供が喫煙しないよう大人がしっかり見守ること、また、子どもが受動喫煙により、タバコの煙に含まれる様々な有害物質で健康被害に合わないよう、社会全体で取り組んでいくことが大切だと思います。